

2019

大鼓

フェスティバル in 青海

えびす大黒

11/3日(日祝)

	開場	開演
第1回	12:30	13:00
第2回	17:30	18:00



梶原徹也



陽介

●会場 / 青海総合文化会館

きららホール

●入場料 / 前売 **2,000円** (当日2,500円)
 《全席自由》 (中学生以下) **1,000円** (当日1,500円)

前売券 8月1日より発売

●前売券取扱所 / 青海総合文化会館・糸魚川市民会館
上越文化会館・十文字堂カメラ店

●問い合わせ先 / 越後・親不知太鼓事務局 TEL. 025-562-3221
(十文字堂カメラ店内)

主催 / 太鼓フェスティバル in 青海実行委員会

後援 / 糸魚川市・糸魚川市教育委員会・糸魚川市文化協会
青海町商工会・糸魚川市観光協会青海支部・(株)浅野太鼓楽器店

双子姉妹の津軽三味線

Duo
みさみさ



★子不知太鼓

★越後・親不知太鼓

出演団体プロフィール

えびす大黒

太鼓芸能集団「鼓童」で18年間叩き続けた荒武者・陽介と元 THE BLUE HEARTS のドラマー梶原徹也による音楽ユニット。超強力パワーヒッターの二人がくりだすダイナミック・ビートの渦は祈りとなって世界を変える!!!



梶原徹也



元ロックバンド「THE BLUE HEARTS」のドラマーであり、日本だけでなくUSA、イタリア、パスク、アルゼンチンなど、世界中で演奏活動をするドラム奏者。ロック、和太鼓やダンス、アクロバット飛行機とのコラボ、大塚愛バンドでのNHK紅白歌合戦出場など、ジャンルにこだわらずパワー全開でドラムを叩いて、爆発する生命エネルギーを伝えている。また、パリアフリー・ロックバンド「サルサガムテープ」やフリースクールでの音楽講座など、大人数でリズムを自由に叩きながら、参加者全員で音楽の楽しさを共有するという活動を積極的に行っている。近年では太鼓芸能集団「鼓童」アースセレブレーションでのゲスト出演、さらに鼓童本公演・坂東五三郎氏芸術監督「混沌」のドラム監修、アドバイザーや作曲を手がけ、自らのバンド「THUNDERBEAT」、「えびす大黒」など、和太鼓とドラム、ロックの新たな可能性を模索している。

神仏に捧げるご奉納演奏は、ライブワークとして、ご縁を大切にしながら全国各地の神社仏閣を廻っている。

陽介



1999年より太鼓芸能集団鼓童を目指し、新潟県佐渡ヶ島に渡る。鼓童メンバーとして国内外で活躍。ブルーマンやオーケストラなど様々なアーティストとの共演出演。カーネギー・ホールやパリオペラ座など有名劇場等での演奏、人間国宝坂東五三郎氏演出の「アマテラス」ではスサノイ役にて抜擢される。2017年「生きる」をテーマにソロ活動を開始する。

中国蘇州にて初演出舞台「太鼓本色」で舞台演出芸術家としてデビュー。映画ラストサムライの舞台となった姫路市書寫山園教寺では仏教からインスピレーションされた新作「ARAYASHIKI」を発表。1000年以上の歴史ある空間と融合した舞台は各紙面に取り上げられ、立ち見席100人を超し好評を博す。様々な国内外でのイベントやゲスト出演、コラボレーション、WSやチーム指導や作曲、元BLUE HEARTSドラマー梶原徹也氏との音楽ユニットえびす大黒を立ち上げ、さらなる生命の音を追求している。

双子姉妹の津軽三味線 Duo みさミサ

平成5年、越後能生町(現糸魚川市)生まれ。三味線弾き小竹勇生山を父、誓女唄の小竹栄子を母にもつ双子の津軽三味線姉妹。幼少の頃より父の三味線と母の唄を聴きながら三味線音楽に目覚める。平成14年より三味線修行を開始。父から三味線、母から民謡、誓女唄をそれぞれ師事。平成26年より新潟日報カルチャースクール 津軽三味線の奏 講師令和元年11月、新潟県開催の第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭フィナーレにゲスト出演予定!



主な津軽三味線コンクール受賞歴

- 2015年(団体) 第27回津軽三味線全日本金木大会 団体Cグループ(青森県五所川原市) 三すじ衆「いちこつ」優勝日本一!
- 2018年(個人) 第3回津軽三味線・津軽民謡全国大会in倉敷(岡山県倉敷市) 一般女子部門 姉・美咲 優勝!全国制覇達成!
- 第12回津軽三味線日本一決定戦(青森県青森市) 個人上級者女性の部 姉・美里 優勝!全国制覇達成!
- 2019年 第13回津軽三味線日本一決定戦(青森県青森市) 個人上級者女性の部 姉・美咲 準優勝
- その他、受賞歴多数。
- 姉美咲、津軽三味線6大大会(青森・弘前・金木・大阪・滋賀・倉敷)で入賞(優勝1回、準優勝2回)
- 妹美里、津軽三味線7大大会(青森・弘前・金木・東京・大阪・名古屋・滋賀)で入賞(優勝1回、準優勝4回)という快挙達成(新潟県初)
- 双子では世界初の津軽三味線コンクール優勝デュオとして全国にその名を轟かせる。新潟県(糸魚川)が世界に誇る双子の津軽三味線姉妹である。

三味線弾き 小竹勇生山

越後、能生出身新潟県糸魚川市能生在住)

民謡師範である父の影響で、幼少の頃より民謡に親しみ、10歳のときに三味線を始める。師である山本竹勇(やまもと ちくゆう)の元で修業し、ライブ活動や海外公演を経て、平成3年に独立。

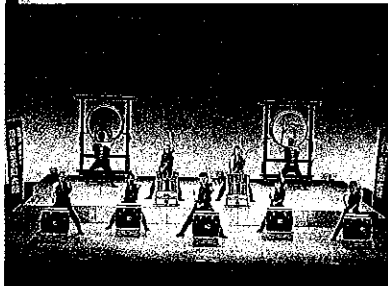


そんな中、故郷の高田誓女が津軽三味線と深く関わっていたことに興味を抱き、1990年、小竹栄子と共に最後の高田誓女であった「杉本シズ」から高田誓女の芸を継承する。現在、津軽三味線に高田誓女の芸風を取り入れた三味線サウンドで演奏活動を行っている。津軽三味線の巨匠、初代 高橋竹山(たかはし ちくざん)の芸を継承できる数少ない奏者である。

2008年、ワーナーブラザーズ映画公開の映画「I CHI」に三味線指導、監修、誓女唄指導で参加し、主演の綾瀬はるかには誓女唄、三味線を指導。

津軽三味線コンクールでは門下生が個人戦・団体戦と挑戦中。2015年、第27回全日本津軽三味線金木大会・団体戦で自身がプロデュースする 三すじ衆「いちこつ」が優勝、日本一を獲得!

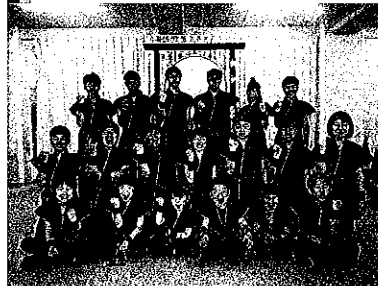
越後・親不知太鼓



平成8年に地域の活性化・青少年の健全育成・郷土発展のため、地域の皆様の力強いバックアップのもと、天下の険と謳われた“親不知”の名をいただき、越後・親不知太鼓として活動を始めました。発足当時、和太鼓の基礎を姦太鼓の千田京子氏に師事。国民文化祭に新潟県代表として2度出場しました。現在は、糸魚川市内を中心に地域の祭りやイベントに出演したり、『太鼓フェスティバル in 青海』を毎年開催するなど活動しています。10月に新潟県上越市で開催される国民文化祭『太鼓の祭典』に3度目の出場も決まりました。

今年は、陽介氏作曲、指導により久しぶりの新曲に挑みます。初心を忘れずに新たな専にもチャレンジしていきます。

子不知太鼓



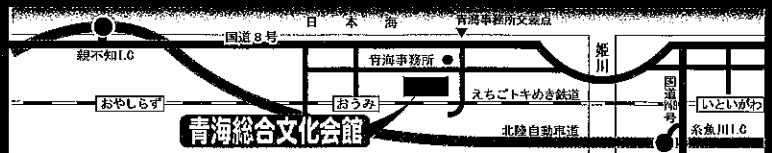
子不知太鼓は、越後・親不知太鼓の子供チームで、幼稚園・保育園児、小・中・高校生まで19名で活動しています。年長さんの3名がみんなと一緒に演奏できるように頑張って練習しています。今年は、「楽音」「隼」等の曲に挑戦中です。

新しい曲やパートに挑戦することを通して、仲間と一緒に演奏する楽しさを感じ、成長していきたいと思っています。また、挨拶やルールを守る等も身につけ、太鼓を通して仲間や周囲の方々や気持ちよく過ごしていくことも大切にしていきたいと思っています。

今年も素晴らしい演奏となるように頑張っていきます。よろしくお祈りします。

青海総合文化会館きらら青海

〒949-0305 新潟県糸魚川市大字青海4657-3
TEL.025-562-2223 FAX.025-561-7010



- 北陸自動車道/親不知I.Cより車10分
- 国道8号/青海事務所前交差点より車1分
- 北陸自動車道/糸魚川I.Cより車10分
- えちごトキめき鉄道/青海駅下車 徒歩5分